

2 大地に根ざしたたくましい産業をつくりましょう

産業振興

本市の地場産業を発展させるため新製品の開発等を支援する「チャレンジ・アレンジ産業振興奨励金制度」を継続し、今後も多くの企業に活用いただけるようPRします。また、「産業振興人財育成事業」については、企業間同士の産業連携や技術連携に繋がるような人財育成を実施します。

公共建設事業

赤平消防署消防総合庁舎建設のほかに、今後は統合中学校建設などの大型事業を計画しておりますが、引き続き公的住宅や公園、道路、橋りよう等をはじめとする市民の安全安心社会の実現に向けた公共建設事業を実施しつつ、地元建設業者等に対する経済振興に寄与します。

食ブランド開発

今後も市内飲食店による「がらがん鍋協議会」と連携を図りながらPR活動を進めます。また、産業フェスティバルにおいて新メニューのどんぶり販売を行うなど、新たな食ブランドの創出に努めます。

特産品の推進

「赤平市特産品推進協議会」を発足しており、引続き特産品のイメージづくりや宣

伝方法の分析、都市部で実施されて

いる北海道物産展へ出店するなどイメージアップや販路拡大等に努めます。また、本年度は国の地方創生先行型交付金を活用し、赤平市特産品推進協議会が主体となつて本市の特産品の販売や観光案内を行う情報発信基地として、アンテナショップを幌岡地区にモデル的にオープンします。来客の増大を図るため地元で撮影されたドラマのギャラリイも併設します。



特産品の推進
アンテナショップ
AKABIRA ベース

農業・商業・企業間の連携

地元
の食料品や生産品、製造品を一

に集めて市民へ直接販売やPRを行い、赤平の魅力を再発見していただき地産地消の拡大を図るため「赤平産業フェスティバル」を開催します。

工業

設備投資をされる企業に対し企業振興促進事業に基づき支援します。また、道や中小企業基盤整備機構並びに北海道産地地域振興センターなどと連携を図りながら、市長自らがトップセールスとして企業誘致活動を行います。

商業

昨年発足した「商店街振興対策協議会」を中心に地域おこし協力隊による商店街通信の発行や本年度から空き店舗を活用した「チャレンジショップ」を開設するほか、店舗近代化促進事業並びにスーパープレミアム商品券発行助成を継続します。また、本年度は国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、スーパープレミアム商品券発行助成額を前年度の倍額とします。さらに、人の流れを見出すために、中心市街地におけるポケットパークの整備について検討します。

農業

本年度に中山間地域等直接支払事業交付金制度が拡充され、本制度を活用し集落体制の維持・強化に努めます。また、多面的



林業

植林及び間伐等による市有林の森林環境保全整備事業や未来につなぐ森づくり推進事業並びに分収造林事業などを計画的に推進します。

観光

エルム高原施設を核として自然にふれ合えるイベントの開催など、効果的なソフト事業の推進を図ると共に大勢の市民が愛着心を持って施設に一堂に集い楽しんでいただける「市民デー」の開催を検討します。さらに、流政之氏の彫刻作品と家族旅行村の融合を図り新たな観光名所としてPRします。

イベント

「らんフェスタ赤平」「あかびら火まつり」などの伝統を継承しつつ、魅力ある個性豊かなイベントの充実に努めます。また「市民花火大会」を継続するため市民や企業などの皆様に募金のご協力を働きかけます。

地域資源の活用

炭鉱遺産や食匠の技など市内の各団体が工夫を凝らして様々な活動をされており、団体の主体性を尊重しつつ必要に応じた支援を行います。また、特に炭鉱遺産と匠の技を生かした教育体験旅行の企画検討を進めるため、炭鉱遺産の継承方法並びに財産のあり方についても検討します。

3 生きる力を育む 生涯学習社会をつくりましょう

学校統合・幼保統合

少子化の進行と共に児童・生徒数は大幅に減少しており、中学校の統合に続き小学校の統合についても新校舎を建設するため、「赤平市立小・中学校適正配置計画」の変更等について検討し、まちの宝である子ども達の教育環境の充実を図ります。また、幼稚園についても同様に幼児数の減少が続いており、子ども・子育て支援計画にもとづき幼稚園と保育所を統合した「幼保連携型認定こども園」の早期設置を目指します。

学校給食

食育と栄養バランスに配慮しつつ設備等を計画的に更新するほか、物価の高騰や消費税引上げ等により給食費会計は厳しさを増しておりますが、子育て世帯の給食費の負担増加にならないように支援します。

社会教育

東公民館と交流センターみらいを拠点として各種講座や講演等を開催し、市民並びに各種団体活動を活性化すると共に、中学生以下の子どもの達については社会教育・体育施設の使用料の無料化を継続します。

幼稚園教育

3歳児教育と預かり保育を継続するほか、学びの基礎を培い健やかな成長を育みます。

小・中学校教育

学力向上プランの実行や特色ある取組みによって、学力向上を目指します。また、本年度はタブレット端末を用いたモデル事業や滝川市教育支援センターの適応指導教室への通所支援、ことばの指導や発達支援が必要な児童に対する通級指導教室を開設するなど、子ども達の教育環境の変化に対応します。

芸術・文化・歴史

今後も文化協会等の関係団体と連携を図りながら、芸術、文化に触れる機会の拡充に努めます。また、まちの文化や歴史を後世に継承することは極めて重要であり、小学校社会科副読本を活用するほか、本年度から専門職員を配置して炭鉱遺産の保存整理、住吉獅子舞、郷土生活資料、埋蔵文化財・史跡の継承に努めます。さらに、歴史資料館の整備に向けて、本年度に策定する公共施設等総合管理計画の中で基本方針を定めるほか、民間が所有する炭鉱施設の財産の管

理方法についても検討します。
青少年教育 青少年健全育成事業やふるさと少年教室などの充実を図ると共に、社会環境の変化に対応し事件や事故などを未然に防止するため学校や警察署等の関係機関と連携を図ります。

図書館

希望図書予約や図書館のネットワーク等を通して、市民が必要とする図書の提供に努めると共に、子ども達の豊かな感性を養うためブックスタートをはじめ読書習慣の定着を図ります。

4 ゆとりと潤いのある 快適な生活を支えましょう

公的住宅

平成26年度に策定した「住生活基本計画」及び「公営住宅等長寿命化計画」を基本に計画的な建替えや改善・修繕、人口規模に見合った適正な管理戸数の整備を目指します。福栄地区の改良住宅建替事業については、平成30年度までに3棟24戸の建設、10棟208戸の除却を予定し、本年度は、平成28年度の10号棟建設に向けた実施設計を行います。

公営住宅建替事業として茂尻第一団地については、本年度の4号棟1棟8戸の建設によって全体計画の4棟40戸の建設が完了と

社会体育

北翔大学との包括連携協定に基づき「子ども体力測定走り方教室」「市民スマイルウォーキング」を開催するほか、子ども達を対象とした各種スポーツ教室や高齢者も参加可能な軽スポーツ大会、レクリエーションスポーツなども開催し、スポーツ技術の向上と健康増進に努めます。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、総合教育会議を通じて市長と教育委員会とのさらなる連携を深め教育振興を図ります。

なり、春日第一団地等の19棟92戸の除却を継続します。また、新規事業として豊丘町の吉野団地の建替えに向けて調査設計等を進めていくほか、移転集約事業として平和団地、曙西団地の集約並びに空き住棟の除却を行います。

既設の公的住宅

老朽化した住宅等の安全性・緊急性に対応した修繕や入居時の補修を行うと共に冬期間における空き家の落雪対策や通路確保などに努めます。また、長寿命化改善事業として、青葉シルバーほか7団地の屋



根や外壁の改善事業を実施します。

民間住宅

住宅改修費用等の一部を助成する「あんしん住宅助成事業」は本年度が最終年度となることから、再度、事業効果を検証した上で助成期間の延長等について検討します。また、民間賃貸住宅の建設費用の一部を助成する「民間賃貸住宅建設費助成事業」、既存の民間賃貸住宅の改修費用の一部を助成する「民間賃貸住宅リフォーム助成事業」について、加速期間と設定した平成28年度まで継続し、本事業についても最終年度に事業効果を検証した上で助成期間の延長等について検討します。